






## 2月のフォトレポート

標 題	集落営農型法人の経営力強化に向けた研修会を開催		機関名	八幡浜支局地域農業育成室
年月日	令和5年2月10日、20日	場所	八幡浜支局、伊方町中浦	
指導対象	集落リーダー等（18人）	連携機関	JAにしうわ、伊方町、八幡浜市、西予市、みかん研究所	
普及指導内容	<p>○地方局予算「西宇和地域柑橘集落営農組織支援事業」の一環として、法人の経営力強化を目的に、8月に実施した経営計画策定を一步進めるとともに、モデル園に植栽している「紅プリンセス」の栽培管理技術の向上に向け研修会を開催しました。</p> <p>○経営計画研修会は、講師である IM ソリューションズ株式会社の岡本陽氏から、目標設定時には、具体的、計測可能、達成可能、関連、期限を意識することが必要であるとのアドバイスを受け、5年後の経営目標の設定を行いました。</p> <p>○栽培技術研修会では、みかん研究所が「紅プリンセス」の目標階級、果実品質や摘果、剪定などの栽培技術及びモデル園の管理技術指導を、また、当室がマルドリ施設管理時の注意点を説明しました。</p>			
結果と今後	<p>○法人のメンバー間で、計画作成方法の理解が進むとともに、共通認識の必要性を理解できました。また、「紅プリンセス」の今春以降の幼木管理技術を習得しました。</p> <p>○本事業は今年度で終了しますが、法人への支援を継続することで、当地域の産地維持のモデルとして育成し、他地域への波及に努めます。</p>			
			 <p>ワークショップ形式で経営計画を作成</p>	

標 題	シトラス講座で「紅プリンセス」を紹介		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 〃 産地戦略推進室
年月日	令和5年2月22日	場所	八幡浜市	
指導対象	南予儲かる農業人材育成事業重点対象者を含む新規就農者（85人）	連携機関		
普及指導内容	<p>○次代を担う新品種として期待されている「紅プリンセス」の導入を促進するため、新規就農者らを対象とするシトラス講座に取り上げ、品種特性や栽培方法を紹介しました。</p> <p>○講座の収録では、当室職員がほ場で栽培技術の説明や試食を行い、生産者に同品種の魅力が伝わるよう工夫しました。</p> <p>○また、改正種苗法の概要も解説し、苗木や穂木の取扱いについても注意を促しました。</p>			
結果と今後	<p>○若い生産者へ品種の魅力をアプローチし、関心を高めるとともに、管内では、中晩柑類が栽培される半島部を中心に、3～4月の戦略品種として導入が進むことが期待されます。</p> <p>○当室では、今後、地域適応性を見極めながら導入を促し、新たな産地化を目指します。</p>			
			 <p>シトラス講座で果実の魅力を PR</p>	

標 題	“実証”から“実装”へ AI 選果機に期待高まる		機関名	八幡浜支局地域農業育成室
年月日	令和5年2月13日	場所	伊方町川永田 田縁農園倉庫	
指導対象	かんきつ生産者、関係機関職員ら (50人)	連携 機関	西宇和スマート農業推進協議会	
普及指導 内容	<p>○西宇和スマート農業推進協議会では、今年度、管内で初めて AI 選果機（中晩柑タイプ）を導入した田縁農園（伊方町）において、セミナーを開催しました。</p> <p>○AI 選果機はベルト上に果実を置くと5方向からのカメラと糖酸センサーで、大きさ、外観、糖度、酸度を判定し、階級ごとにトレイ上に選別されます。</p> <p>○セミナーでは当室担当者が、令和元年～2年度に取り組んだ国の「スマート農業加速化実証プロジェクト」の概要と、これまでの実証成果について報告しました。</p> <p>○また、(株) NP システム開発の担当者が、性能と使用方法について説明するとともに、導入した田縁藤治氏が、「選果に不慣れなアルバイトにも作業を任せられる」「選果能率が3倍に向上した」など、その効果を紹介しました。</p>			
結果と今後	<p>○参加者は、AI による判別精度を確認しながら、「選果時間が削減され、他の作業に時間が割ける」「夜遅くまで選果を行う必要がなくなる」など、その省力効果に大きな期待を寄せました。</p> <p>○管内では3月末までに、さらに1機の導入が予定されており、当室では今後、導入農家での費用対効果や選果データの活用等も検証しながら、実装を図ります。</p>			
				AI 選果機セミナー

標 題	ICT 大型捕獲檻の実績検討会を開催		機関名	八幡浜支局地域農業育成室
年月日	令和5年2月24日	場所	八幡浜市 JA にしうわ真穴共選	
指導対象	真網代猟友会・穴井猟友会（5人） 真穴同志会青年部（5人）	連携 機関	JA にしうわ	
普及指導 内容	<p>○鳥獣被害が多発している八幡浜市真穴地区では、遠隔操作でイノシシを捕獲できる ICT 大型捕獲檻の実証に取り組んでいます。</p> <p>○今年度の実績を踏まえ、檻を管理する猟友会会員と次年度の対策を協議するとともに、青年農業者に狩猟免許取得に向けた指導を行いました。</p>			
結果と今後	<p>○捕獲実績向上のため、他地域で実績のある家畜の飼料を撒き餌として用いるとともに、大型捕獲檻周辺の防護柵の点検・強化を地域ぐるみで行うこととなりました。</p> <p>○また、青年農業者らは「狩猟免許の取得は、自分たちの負担が増える恐れがあり不安だったが、地域を自身で守るために必要であることを理解した」との反応がありました。</p> <p>○当室は、猟友会が今年度の実績を評価し、その反省を踏まえて、次年度に向けた対策に取り組むことを促し、大型捕獲檻の技術確立や他地域への波及を図ります。</p>			
<p>【ICT 大型捕獲檻】 センサーにより檻の入口付近でイノシシを感知するとメール通知と録画が行われる。スマートフォン等でライブ映像を確認し、遠隔操作で入口の扉を落とすことができる。</p>				管理者と次年度の 取組を検討

標 題	オレンジフェスタで「媛小春」をPR		機関名	八幡浜支局産地戦略推進室 〃 地域農業育成室
年月日	令和5年2月19日	場所	八幡浜みなと（八幡浜市沖新田）	
指導対象	管内女性組織連携団体（47人）及び 来場者	連携 機関	八幡浜市、伊方町他関係機関	
普及指導 内容	<p>○八西管内で農林漁業を担っている女性が一堂に集い、消費者との交流を図るオレンジフェスタを3年ぶりに開催し、鯛めし、みかん餅などの郷土食やマーマレードなどの加工品を販売しました。</p> <p>○当室ではイベントに合わせ、県オリジナル品種「媛小春」の知名度向上のため、果実展示コーナーを設けPRするとともに、農業講座として実施したカットフルーツの実演では「媛小春」を食材として利用し、黄色い果実からは想像できない甘さや彩りで作品を引き立てました。</p> <p>○また、認知度を把握し今後の販売活動につなげるため、講座参加者には果実を配布し、アンケート調査を実施しました。</p>			
結果と今後	<p>○今年のオレンジフェスタは、地元女性農業者らと消費者が直接交流できる久しぶりの機会となり、多くの来場者で賑わいました。</p> <p>○「媛小春」は、令和5年度から産地化に取り組むこととしており、スタートダッシュを図る上で、消費者に対し有用なPRとなりました。</p>			
				<p>カットフルーツの実演</p>